

肉用種雄牛の検定 次代を担う種雄牛「宮福茂」「菊宗」「茂糸桜」

畜産試験場

1 取り上げた理由

肉用牛集団育種推進事業による和牛産肉能力検定は、優れた宮城県産の種雄牛を造成し地域の肉用牛の改良を推進するため実施されているが、検定の結果、宮城県肉用牛改良委員会で「宮福茂」「菊宗」「茂糸桜」の3頭が宮城県基幹種雄牛として認定され、本年4月から供用されたので、その特性と交配指針を普及技術とする。

2 普及技術

- 1) 和牛産肉能力検定済み種雄牛 宮福茂, 菊宗, 茂糸桜
- 2) 血統, 産地, 特性

名 号 産 地 生 年 月 日	父 母	祖 父 母	曾 祖 父	特 性	優 点	間 接 検 定 成 績
					欠 点	
宮 福 茂 加美郡宮崎町 平成4年11月21日	茂重波	茂金波	茂 福	資質		D G 0.80 kg
		しげみつ	茂金波			芯面積 48 cm ²
	ふくよ	安 福	安谷土井	稍發育 体下線		バラ厚 5.7 cm
		さとふみ	菊照土井			BMS 3.3
菊 宗 登米郡南方町 平成5年1月17日	波 宗	茂重波	茂金波	發育 資質		D G 0.90 kg
		おくむね	第3福德			芯面積 51 cm ²
	きくよし	菊 谷	安谷土井	外腿		バラ厚 5.7 cm
		よしはる	恒 徳			BMS 2.4
茂 糸 桜 桃生郡桃生町 平成6年4月4日	第7糸桜	第14茂	第6藤盛	發育 皮膚		D G 0.81 kg
		第9いとざくら	城 松			芯面積 46 cm ²
	ひめさくら	茂重波	茂金波	体上線 稍体積		バラ厚 5.2 cm
		さだひめ6	第7糸桜			BMS 3.3

3) 交配指針

- (1) 宮福茂 肉質, 資質の改良が期待されるが, 体積不足の雌牛への交配は好ましくない。兵庫系, 特に茂重波を近縁に持つ雌牛との交配は避ける。
- (2) 菊 宗 發育, 資質の改良が期待される。本県繋養種雄牛の産子との間では「波宗」の娘牛への交配は避ける。
- (3) 茂糸桜 發育と肉質の両面での改良が期待される。本県繋養種雄牛の産子との間では極端な近親交配の弊害は避けられる。

3 利活用の留意点

- 1) 雌牛の血統能力に十分配慮し, 交配指針に基づき種雄牛を選択すること。
- 2) この3頭の種雄牛の凍結精液は平成11年4月1日から配布している。

(問い合わせ先: 畜産試験場酪農肉牛部 電話 0229-72-3101)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

肉用種雄牛の検定 平成8～10年

2) 参考データ

a. 和牛産肉能力直接検定成績

検定種雄牛名	検定回数	D G	365日補正体重	T D N要求率	粗飼料摂取率	終了時体型得点
宮福茂	85	1.26	406.3	4.27	32	81.6
菊 宗	86	1.40	438.0	3.92	31	83.3
茂糸桜	92	1.29	420.0	4.16	31	82.4

b. 和牛産肉能力間接検定成績

検定種雄牛名	調査頭数	終了時体重(kg)	D G(kg)	T D N要求率	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	推定歩留(%)	脂肪交雑(BMS)
宮福茂	10	551.6	0.80	6.48	316	48	74.0	3.3
菊 宗	9	607.0	0.90	5.77	345	51	74.0	2.4
茂糸桜	11	541.1	0.81	7.10	302	46	74.0	3.3
全国成績(H8)		581.1	0.89	6.56	344	47	73.5	2.4

c. 新種雄牛交配による予想産子の近交係数

雌牛の父	予想産子の近交係数		
	宮福茂	菊 宗	茂糸桜
茂重波	12.5%以上	6.3%以上	6.3%以上
秋 重	6.3 "	3.1 "	3.1 "
南波竹	6.3 "	3.1 "	3.1 "
宮 滝	0.0 "	0.0 "	0.0 "
茂糸波	6.3 "	3.1 "	6.3 "
第2波茂	6.3 "	3.1 "	3.1 "
安 谷	1.6 "	1.6 "	0.0 "
奥 茂	6.3 "	6.3 "	3.1 "
波 宗	6.3 "	12.5 "	3.1 "
茂 勝	6.3 "	6.3 "	3.1 "

* 近交係数が10%以下となる交配が望ましい